

2025 年 第 2 回 須坂市水道料金等審議会 議事録(要旨)

○ 開催日時場所

2025 年6月4日(水) 午後2時～午後3時 35 分

須坂市役所 本庁舎 3 階 305 会議室

○ 出席者

委員(8名) 耳塚委員、篠塚委員、中村委員、藤沢委員、永田委員、中澤委員
竹前委員、吉川委員

幹事(1 名) 勝山水道局長

書記(6名) 荻原課長補佐、平林課長補佐、宮川(滋)係長、丸山主査、
關主任主事、冨澤 (一)課長補佐

委託事業者(2名) 株式会社ぎょうせい 担当者2名

○ 傍聴人

市民1名

○ 配付資料

会議次第

須坂市水道料金等審議会委員名簿

第1回水道料金等審議会議事録

水道料金算定要領に基づく須坂市水道料金表の検討

○ 会議の状況

1 開会(冨澤(一)課長補佐)

2 水道局長あいさつ(勝山局長)

3 会長あいさつ(耳塚会長)

4 審議(進行 耳塚会長)

5 審議状況

(1) 第1回審議会議事録について

(2) 水道料金算定要領に基づく須坂市水道料金表の検討

事務局より説明を行った。

これに対し、委員から出された意見・質問の概要は次のとおりである。

委 員 口径 20mm⇒13mm に変更は可能か。

事務局 工事としては可能ですが、蛇口の数に制約があり、実際は難しいと考えます。

委 員 生活スタイルの変化によって口径変更も選択肢の一つとして可能性はある。須坂市の世帯構成はどうなっているか。

事務局 手持ちの資料がないため、次回報告が可能であれば報告します。

委 員 核家族化により、仮に世帯数は増えているとすると、その辺の状況も知りたい。

事務局 手持ちの資料がないため、次回報告が可能であれば報告します。

委 員 公平の観点から家庭用以外を上げて家庭用を据置きということは難しいであろうが、基本料金は据え置いて従量料金に比重を置くことは検討していないか。

事務局 現状基本料金約30%、従量料金約70%の構成割合となっていますが、水道料金算定要領の方針としては基本料金約70%、従量料金約30%が望ましいとされています。資料に示したとおり、基本料金をアップさせることで、経営戦略に定める料金改定率9%を確保したいと考えます。

委 員 水道料金未納の割合と、未納者の救済措置があれば教えてほしい。

事務局 家庭用において、収納率は約98%となっています。救済措置は特に設けておりませんが、分割納付の相談を受け付けております。

委 員 昨今の急激な物価上昇を鑑みると、基本料金が高くなると、家計にとって厳しい状況となる。

委 員 基本料金が上がるということは、家庭でのレベルにおいて料金上昇に伴う節約効果も少なくなるため、従量料金のアップをメインに考えてもらいたい。

委 員 峰の原高原は営業用での用途も多いが、実態に即した使用料にはなっておらず、今後口径の変更も視野に入れていかなければならない。水道局側でも原価の低減や、料金上昇に見合った水道の価値を上げる必要もある。

事務局 水道の価値という意味では地震に耐えうる管路の更新がありますが、人口減少等もあり、今後いろいろな意見を取り入れながら方向性を考えていきたいと思えます。

委 員 現行の従量料金から基本料金にウェイトを移行していく過程で、何らかの工夫があれば、住民の理解を得やすいのではないかな。

事務局 水道料金算定要領では基本料金がメインという考え方ですが、基本料金だけでなく、従量料金に関しても意見をいただきたいと考えます。

委 員 利用者が最も多い口径 20mm のみ料金体系を安くすることはどうであろなか。

事務局 公平性の観点に欠ける可能性はありますが、検討の一案としたいと考えます。

委 員 口径別に見て、従量料金収入が多い階層で実際の料金シミュレーションをしてもいいのではないかな。

事務局 用途別に関しては、他自治体等の例を検証したいと考えます。

6 その他

事務局 次回の第3回審議会は、8月6日(水)午後2時より、305会議室にて開催します。

7 閉会(富澤(一)課長補佐)